

## データサイエンスセンターについて

データサイエンスセンター長 佐々浩司

### 1. データサイエンスセンターの概要

2022年10月1日設立

学内における組織構成は別紙参照のこと。

現在、兼任教員3名、専任教員1名で運営。4月より専任2名が配属。各学部より兼任教員を増やす予定。

### 2. データサイエンスセンターの役割

- (1) 数理・データサイエンス・AI教育を全学に普及させることを最重要ミッションと位置づけ、①リテラシーレベル教育の必修化(令和6年度より)、②応用基礎レベルの各学部における実施を進める。令和5年度より理工学部と農林海洋科学部で応用基礎レベルプログラムを開始する予定。
- (2) 学部教育のみならず、大学院や社会人に向けたデータサイエンス教育の普及をはかるため、オンライン教育コンテンツなどの開発を進める。
- (3) 地域課題を解決する手段としてデータサイエンスを活用する。県内の自治体や企業における課題について共同研究を行い、これを学生が教育プログラムとして実践することにより、データサイエンスの実用性を強く意識させると共に、データ駆動型の解決手法を提供することにより、地域のDXを進める貢献をする。
- (4) データサイエンス教育を高度化するための研究を進める。この過程で、学内の様々な研究者と連携し、データ駆動型の研究促進をはかり、学内の研究の高度化を進める。
- (5) 県内高等教育機関におけるデータサイエンス教育の支援。高知大学は数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムの四国ブロック幹事校として、高知県内のデータサイエンス教育充実の支援をはかる。

### 3. データサイエンスセンターの特色

国立大学の中では後発であり、設置されたばかりではあるが、県内で初の文部科学省によるリテラシーレベル教育認定校として、県内のデータサイエンス教育を充実させる責任を感じている。本学には6学部の多様な教育研究によって得られた膨大なデータがあり、これを学内のオープンデータとして活用するオープンサイエンスを推進することにより、本学独自のデータサイエンス教材を提供していくことができるものと期待している。